

資料 1

専門部会等における取り組み (中間報告)

平成25年度の取り組みについて（中間報告）

部会名	地域生活支援部会
担当者	相談支援事業所 ふくいん 水井 春枝
経過報告	
<p>1 東日本大震災に係るアンケート報告会について</p> <p>実施日 平成25年8月20日（火）10：00～12：30</p> <p>会場： いわき市社会福祉センター5階大会議室</p> <p>対象： 障がい福祉サービス事業所、養護学校、民生児童委員、行政嘱託員など</p> <p>内容： 一部 講演会「いわき市の在宅障がい者の震災対応」 神戸大学大学院 大西一嘉准教授</p> <p>二部 地域生活支援部会において、平成23年7月、震災時における障がい者の支援体制、現状及び課題を把握することを目的にアンケートを実施。その後、平成24年12月、各事業所の震災後の対応、新たに生じた課題等について分析した結果報告</p> <p>三部 シンポジウム 「福祉避難所を考える」 コーディネーター 大西一嘉准教授 パネラー 紺野 安子 氏 家族 石井 波夫 氏 いわき地域療育センター 武山 忠弘 氏 いわき市障がい福祉課主幹兼課長補佐</p> <p>参加人数 約90名</p>	
<p>2 グループホーム・ケアホーム検討会</p> <p>第1回検討会 10月21日（水）14：00～16：00</p> <p>内容：設置法人のグループホームの現状を報告して共有を図った。 来年1月実施予定の研修会の内容を話し合った。</p>	
<p>3 障がい者の移動について</p> <p>今年5月に福祉サービス提供実施事業所、相談支援事業所、養護学校など41ヶ所と移動支援事業所42カ所に対して移動支援の実態調査を行った。現在、意見の集約をしている状況である。</p>	
<p>4 発達障がい児者に関する検討</p> <p>発達障がい児への療育は子育てサポートセンターや民間の事業所で対応している状況にあるが、学校を卒業してから相談できる専門機関としては2カ所の民間事業所や医療機関になることから生活支援や就労支援等における課題を整理するため、事例を検討する予定である。</p>	

5 居住サポート事業について

親族のいない障がい者が賃貸住宅に入居する際の保証人問題についての検討。年度当初の課題として位置づけているが、今年度において検討に至っていない。今後、課題における優先順位や工程表も含めて検討予定。

6 バリアフリー化の推進

障がい者及び障がい者福祉への理解、または障がい者の生活における物理的障壁（ハード）に関する検討について、年度当初の課題として位置づけているが、今年度において検討には至っていない。

今後、課題における優先順位や工程表も含めて検討予定。

7 支援体制の現状と課題の把握及び検討

計画相談を全例に実施するH27年4月まで1年半を切ったが、整備が追いつかない状況であることから、市内の計画相談支援事業所と市障がい福祉課による情報交換と検討会を11月22日に部会として実施した。引き続き1月にも会を開き、進捗把握と計画相談支援体制整備の為の協議をする予定。

8 事例検討を含む諸検討

必要に応じて随時実施予定である。

平成 25 年度の取り組みについて（中間報告）

部会名	権利擁護支援部会	
担当者	いわき地域療育センター 佐藤 道子	
<p>【平成 25 年度の課題等】</p> <p>1 「成年後見センター（仮称）」と権利擁護支援部会としての役割 市で検討中の「成年後見センター（仮称）」と権利擁護支援部会としての役割について検討。</p> <p>2 障がい者の虐待対応について 障がい者の虐待対応について、地区センターと相談支援事業所との連携強化についての検討。</p> <p><平成 25 年度の取り組みについて（中間報告）></p>		
開催	開催日	協議・検討内容
第 1 回	6 月 20 日（木）	<p>◆障害者の虐待防止法施行後の現状について</p> <p>①市の主な取り組みについて</p> <p>②市障がい者虐待相談状況</p> <p>◆事例検討（身寄りのない人の保証人をどうするか？）</p>
第 2 回	8 月 8 日（木）	<p>◆成年後見センターの設置についての進捗状況報告</p> <p>◆障がい者虐待防止法施行後の各事業所の取り組みについて</p>
第 3 回	10 月 17 日（木）	<p>◆地域の権利擁護支援の取り組みについて視聴 権利擁護で暮らしを支える（兵庫県西宮市） ～地域をつなぐネットワーク～</p> <p>◆いわき市障がい者虐待防止・対応マニュアル作成・配布 地区保健福祉センターと相談事業所の連携と対応</p> <p>◆障害者差別解消法について、参考資料配布 今後、部会で具体的な取り組みについて検証</p>

平成 25 年度の取り組みについて（中間報告）

部会名	児童・療育支援部会
担当者	いわき母子訓練センター 松崎 絹枝
【協議事項】	
1 ふくしまサポートブックの協議継続	
※ ふくしまサポートブックとは・・・ライフステージの移行期に情報がスムーズに流れることで、適切な支援が受けられる為のツールのひとつ。	
現在いわき市では「ふくしまサポートブック」を活用しているが発達障害の方向けに作成されている為、「身体障害児者」「知的障害児者」「発達が気になるお子さん」には対応できる内容ではないことから、さまざまな障がいに対応できるサポートブック（シート）作りを行なっている。	
「発達が気になるお子さん・知的障害児者」「身体障害児者」用のサポートブック（シート）を作成中。	
各障がいにより支援者に伝えたい情報や支援者側が必要とする内容が異なることから、ふくしまサポートブックをベースとし、グループ別にて内容の精査・検討を行なっている。	
<今後>	
① 各障がい別のサポートシートのすり合わせを行なっていく。	
② 実際活用している保護者の方にモニタリング予定	
③ いわき市ホームページへの掲載を提言していく。	
2 インフォーマルな社会資源の情報収集	
福祉制度の中では補える範囲に限界があることから、インフォーマルな社会資源も上手に利用していけるように個別に持っている情報を共有し活用していけるよう各自で情報収集を行なっている。計画では年度末に持ち寄ることとしていたが、情報がある場合はその都度部会にて報告（提供）を行なっている。	

3 医療ケアを必要とする重症心身障害児者の生活を支える体制づくり

NICU（新生児特定集中治療室）から在宅に戻る方で医療ケアが必要な場合にスムーズな支援を受ける為には情報や準備が必要である。医療と福祉の連携がとれない、情報の共有ができないという課題から、24年度に情報共有シートを作成。

※ 情報共有シートとは・・・医療と福祉が共有できる共通の様式で、ひと目でほしい情報を得ることができるシート。

<今後>

モニタリングを行ない精度を高めていく為、実際に重症心身障害児者の方に携わっている居宅介護事業所に1月の部会への参加を依頼してある。また、医療に携わる団体へも情報共有シートを見てもらい意見をいただく予定。

4 医療ケアを実施できる事業所の増加

現在医療ケアを行なえる事業所が少ないことから、一般の方や事業所に重症心身障害児者の方の生活を理解してもらう為、既存の研修会や講演会に児童療育支援部会での取り組みの説明の場を作っていくことで事業所の増加につなげていきたい。

部会で取り組んでいる内容とリンクしていることから、9月に「NICUからの地域移行の相談支援事業所を通して」のDVD鑑賞を行なった。

<今後>

「幼い命を支えるために～連携する医療と福祉の挑戦～」のDVD上映と講演会を実施予定。日程は2月頃で調整中。

平成 25 年度の取り組みについて（中間報告）

部会名	就労支援部会
担当者	渡辺 誠二郎
【協議事項】	
1 各関係機関の連携強化、情報共有を図る為、就労支援部会の構成メンバーの検討	
受け入れする側の企業との意見交換、情報共有が必要。来年度に向けて、部会で企業等の参加について検討。	
平成 25 年 10 月 26 日に行われた第 3 回部会で、構成メンバーについて検討。職親会が案として提案された。	
第 4 回部会までに部会メンバーについて整理していく。	
2 身体障害者の受け入れ可能な就労系事業所が少ないことについて	
希望しているが受け入れ困難等の実態調査の実施。	
10 月に部会関係者に実態調査していくためアンケートを行った。	
現在、アンケート回収中である。集約、内容を精査し、問題点について整理していく。	
3 就労継続支援 B 型事業所連絡協議会について	
連絡協議会が部会と別日程での開催等、積極的に行っていく。	
工賃向上をテーマに、第 1 回連絡協議会（平成 25 年 5 月 27 日）、第 2 回連絡協議会（平成 25 年 6 月 24 日）が開催された。	
* 工賃向上に向けた講演会の開催 平成 25 年 10 月 4 日 テーマ「工賃向上と利益と私の人生」 中小企業経営コンサルタント 小野晴世氏	
メーリングリストの開設：就労継続支援 B 型間の情報の共有化を図る。	

4 定着支援のあり方について

就業定着状況について、各事業所からアンケートを集計中。今年度中に分析及び定着率向上に向けたルール作りを作成していく。

企業が求める人材について:企業者側からの視点に立った講演会の実施。

平成 25 年 11 月 26 日

講師：株式会社マルト・日本化成株式会社

移行支援事業所のスキルアップ研修の開催

平成 25 年 12 月 4 日

講師：福島障害者職業センター

平成 25 年度の取り組みについて（中間報告）

部会名	自立支援協議会運営会議	
担当者	特定非営利活動法人そよ風ネットいわき	
【協議内容】		
<p>運営会議は毎月 1 回開催、いわき市地域自立支援協議会への参画を図り、いわき市における障がい児（者）の相談支援事業が適正かつ円滑に実施されるよう相談支援事業所が抱える困難事例等、4 専門部会（地域生活支援部会・権利擁護支援部会・児童療育支援部会・就労支援部会）の報告、課題提起、意見聴取及び調整のもと相談支援機能の強化を図る事としている。</p>		
開催	開催日	協議・検討内容
第 1 回	4 月 12 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会活動報告 ・市相談支援事業所の案内リーフレット作成について ・第 4 次いわき市障がい者計画策定について説明
第 2 回	5 月 10 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会活動報告 ・運営会議で検討すべき各部会からの提言について
第 3 回	6 月 7 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・市相談支援事業所の案内リーフレット作成について ・各専門部会活動報告 ・市障がい者計画策定の進捗状況について説明 ・いわき市防災計画「福祉避難所」設置について説明 ・先進地視察の検討
第 4 回	7 月 12 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会活動報告 ・第 1 回自立支援協議会全体会議への役割分担確認
第 5 回	8 月 9 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会活動報告 ・困難事例の検討・協議 ・先進地視察の検討
第 6 回	9 月 6 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会活動報告（福祉避難所シンポジウム等） ・市障がい者計画策定に向けての各部会の課題 ・第 2 回自立支援協議会全体会議に向けての各部会課題 ・福祉避難所への市としての取り組み経過報告 ・災害時要援護者への働きかけについて
第 7 回	10 月 11 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会報告・課題の進捗状況確認（移動支援、児童療育関係シンポジウム開催について等） ・先進地視察の決定

第8回	11月15日 (金)	・先進地視察（社会福祉法人なのはな会 仙台市）
第9回	12月6日	・各専門部会報告 ・第2回自立支援協議会全体会議の役割分担確認

【その他内容】

1 「いわき市相談支援事業所のご案内」リーフレット作成

今年度当初、「いわき市相談支援事業所のご案内」リーフレット作成を行い6相談支援事業所の協力を得6,000部作成、関係機関に配布し広く障がい福祉の啓蒙、啓発、及び相談支援事業所の存在を広める事に努めております。

2 いわき市総合防災計画に「福祉避難所」設置の確認、進捗状況

昨年度、地域生活支援部会において継続協議していた、いわき市総合防災計画における「福祉避難所」設置の位置づけに関し、市の取組みについて、継続的に確認してきました。

3 先進地視察

実施日 平成25年11月15日(金) 12名参加

視察場所 社会福祉法人なのはな会(仙台市)

児童発達支援事業所・児童発達支援センター視察常務理事・園長 加々見ちつ子氏講話、施設案内

4 その他

(障がい者ピアカウンセリング事業の報告)

求職中の身体障がい者2名を雇用、ピアカウンセリングにより被災した障がい者の環境の変化に伴う様々な悩みや生活上の課題を傾聴することで、被災された障がい者の生活の安定を図ることを目的として、平成24年度から(23年度福祉事業団)そよ風ネットがいわき市の委託を受け、いわき市相談支援事業所6カ所の支援、協力を得て、各事業所2カ月ずつ当該地区の避難者等を定期訪問していることから、参考として、毎回、運営会議で報告しています。